

税の大切さ

宇多津町立宇多津中学校 1年 岩崎 由希子

私は小学五年生の時に宇多津町に引っ越してきました。引っ越してきて宇多津町の小学校や図書館がきれいで、町内に公園がたくさんあることに驚きました。そして、この二年間で体育館にエアコンが付き、公園のトイレがきれいになり、今も役場の近くの公園が整備されています。私が気付いただけでもいろいろな場所にお金が使われています。私はこの夏休み、宇多津町の財政と税金について詳しく調べてみることにしました。

初めに、宇多津町の広報に載っている予算を調べてみました。歳入の項目を見ると町税、地方贈与税、地方交付税など、いろいろな税があります。私は今まで消費税くらいしか意識したことがなかったので、その他の税について詳しく知りたいと思いました。そこで、税や町の財政に詳しい宇多津町役場の総務課長さんと税務課長さんにお話を聞きに行きました。どのような税があるのか、それがどのように使われているのかという私の質問にとても詳しく丁寧に答えてくださいました。わかりやすいところでは宇多津町が管理している道路、公園、役場、図書館、学校などの施設の管理に使われていること。その他にも、町に住んでいる人たちが安心して暮らせるように使われているお金。例えば私たちの学校生活に必要な事に使われるものや健康に過ごせるように健康診断などにも使われること。私が意識していないところでもたくさんの税金が使われていることがわかりました。

私は中学校で吹奏楽部に入っています。吹奏楽部にはたくさんの種類の楽器があり、私も毎日学校にあるクラリネットを借りて練習しています。総務課長さんは町の予算で吹奏楽部のハープを購入した時のことを話してくださいました。それまではよその学校からハープを借りて使っていたけれど、あまり練習ができないからということで購入することになったそうです。ハープはとても高額で、その上入れ物もとても高い。でも、頑張っている中学生のために購入したんだと教えてくださいました。毎日当たり前のようになっている楽器も、みんなが納めた税金で購入されているのだということを知りました。私もこれまで以上に大切に、感謝の気持ちを込めながら演奏したいと強く思いました。

「必要なものでも予算が足りなくて諦めてしまうことはありますか。」との質問に課長さんは、いろんなどころでできる限りの節約をしながら本当に必要なところに使うようにしているのだと教えてくださいました。私たちも公共の物を無駄に使わず、大切にしていかななくてはいけないと改めて思いました。そして、私も大人になったらしっかりと税金を納めて、世の中を支える一人になりたい。その税金がいろんな人たちの役に立つ日が楽しみです。